



運 営 協 議 会 だ よ り

第7号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第7回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成30年12月11日 17:00～18:10

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

1. 校長挨拶

2. 内容 校長先生より

放課後学習教室・・・DNP社 タブレットで通信を使って対象児童へ指導される

経済産業省のモデル授業 ⇨本日プレスリリース 新聞社が取材に来校している

文部科学省教育課程特例校へ応募しております

31年度、32年度新宿区研究奨励校

⇨2年後全国発表へ・・・3～4時間授業を公開する グラグリット社の授業も使って

担任—教科書に無い新しい教育の思考⇨ 本日足立区町工場へ見学

次週大きな工業見学を行いこれからの日本の工業の融合について子どもたちと模索していく

教科書に載っていないことを学ぶ・・・教科書は過去の事しか載っていない

昔の暮らし・・・本日3年生「七輪を使う授業」 協力 西落合クラブ

地域の方々に直接体験を通して学ぶ

⇒様々な機会を有効的に、学びのグローバル化を行っている

【学校関係者評価】について一ご協力お願いします

【意見交換】

- ・七輪体験授業でもち焼きを行い子どもたちが七輪で焼いたほうが美味しいと喜んでいました
最後パンパな数のお餅を食べる際にさらに小さく割ってみんなで食べられるように工夫していた
昔あそびの体験授業でもとても子どもたちは興味深く体験しておりました
- ・不審者情報があると聞きました

答) 先週も2件情報提供をメール配信行いました

学校としましては情報を頂いた場合「不審者情報」の配信をおこないますが、内容によっては、挨拶の延長での声掛けや子どもたちの注意力散漫な行動に好意的に声を掛けている場合もあると思われま
す・・・がしかし学区外でも中には車に乗せられそうになるとかの情報もありますので軽率な判断はして
おりません

- ・近所の者としましては登下校時に挨拶はしたいと思っておりますが学校ではどのように指導を行っ
ているのですか

答) 挨拶をされた方には非礼の内容にと指導はしております。しかし不審者対策としてすぐに逃げられ
る距離を持つ2メートルは離れて手が届かない距離を取ると指導しています。

周年のときお越し頂いた一期生の方にも声を掛けて逃げることはしないで欲しいとご指摘されました

- ・学校に参加して子どもたちと顔を合わせる機会を多く持てれば見通しが聞くようになるのではないで
しょうか

- ・最近の子どもは挨拶をしないのではなく警戒をしているのでしょうか。子どもたちと接する機会が多くなると子どもの方から親しげに声を掛けてくれます
- ・声を掛けても近づき過ぎないことでしょうか。距離を保つこと
- ・PTAについてはどうなったのでしょうか

問) PTA 役割の軽減のために分担できることは分担して次に繋がるように改革をしています

小学生やそれ以下の子どもを持っているのに夜の会議に出るのは大変…育成会

- ・育成会は各学校の PTA が集まって行っている組織です
- ・出来る人が引き受ければいいことで以前は育成会など夜の会議に出る担当は高学年の保護者などでした。年間通して会議も毎月あることもないので大変、大変と言葉が先行しているし、早く委員を済ませたいと子どもが小さいにも関わらず引き受けているのは自分たちの理由ではないでしょうか。

地域とのかかわりが大事と子どもたちに指導を行っている中、保護者もできることは地域活動に参加するのは同じことだと思います。出来る人が出来る時期に出来る事だけやる、無理はしない、コミュニケーションをとって行う。地域に自分の子どもも育てられていることを感謝して、地域の子どもたちを見守るお手伝いを順番で PTA が行うと思い、それがやがて我が子返ると思って活動して欲しいです。

【次回の予定】

1月15日（火） 17:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

【出席者】

北野 清治、鈴木 正実、篠田 邦子、亀井 治子、竹村 郷、大久保 京子（書記兼務）
 庖刀 由利子（副校長）、
 舘 次郎（西落合町会部員、日本ボート協会元理事長）
 久保田 功一（教育支援課）

